

○ **La Librairie française ; catalogue général des ouvrages en vente...**
Paris, Cercle de Libraire, 1931. [フランス文献一般目録]

フランスをはじめ、ベルギー、スイス、カナダにおいて出版されたフランス語の図書を含んでいる。これらは2部に分かれており、第1部は、著者あるいは無著者名古典の書名によってアルファベット順になっており、第2部は分類別になっている。1933年に“Les livres de l'année”の書名で補遺が発行された。

京都大学附属図書館には、“La librairie française ; catalogue général des ouvrages parus de 1^{er} janvier 1946 au 1^{er} janvier 1956 : Tables décennales”が3巻と、“Les livres de l'année”の1957年以後のものがある。前者は、1946年から1955年の十年間に出版されたものをまとめてあり、第1部は、著者名と無著者名古典の目録で、著者名、書名、翻訳者、挿画家、叢書、大きさ、頁数、価格（製本、厚表紙、仮綴じ）、出版年、出版社と出版地の順に記載されている。第2部は書名目録で、著者名、出版年、出版社が記載されている。後者は、一年分を一冊にまとめてあり、第1部はデューイの十進法による分類になっており、検索を容易にするために、よく用いられる語や著名人のリストがある。第2部は書名目録で、第3部は著者名のアルファベットによる。いずれにも出版社の住所録がある。附属図書館では現在1963年まで所蔵しているが、今後引き続いて購入される。

○ **Catalogue général de la librairie française, 1840-1925. Paris, Lorenz,**
1867-1945. 32v. [1840年から1925年におけるフランス文献の一般目録]

編者は、V. 1-11 : Otto Lorenz, V. 12-28, pt. 2 : D. Jordell, V. 28, pt. 3-V. 32 : Henri Stein である。

この書誌は、19世紀と20世紀のための標準フランス語による出版目録で、近代国家の書誌の最も重要なものの一つである。それぞれの巻には次のことが記載されている。

(1) 主な著者や書名の目録は、著者のフルネーム、完全書名、版次、出版地、出版年、出版社、頁、大きさ、価格、適宜に簡潔な注記。

(2) 件名目録は、書名、著者、大きさ、出版年、価格。

これらは、単行本、パンフレット、雑誌を除いた論文や年鑑、定期的にベルギーやスイスで出版されたフランス語の出版物も含んでいる。特徴としては、

(1) 記載されている図書の著者について、簡単な伝記を記していること。

(2) その図書がフランス・アカデミーで完成されたかどうかということ。再発行や最新版の場合には、最初の版の出版年を記していること。雑誌からプリントされた図書やパンフレットの場合には、元の雑誌の巻と出版年が記されていること、等が挙げられる。

附属図書館では、1840年から1925年まで、すべて所蔵されているが、件名目録は所蔵していない。

○ **Bibliographie de la littérature française de 1800 à 1930. Paris, E. Droz, 1933. 3v. [1800年から1925年におけるフランス文献の書誌]**

著者は Hugo P. Thieme で、1907年に“Guide bibliographique de la littérature française de 1800 à 1906”として出版されたものの増補改訂版である。この書誌は、著書と共に伝記的な書誌や批評資料を含んでいるという点で、重要視されている。

V. 1-2 は、著者のアルファベット順に整理されており、各著者の生没年と場所が併記されている。次に(1)出版年、出版社を記した単行本、(2)雑誌論文、(3)単行本形体の評論、(4)雑誌評論を年代記的に記載されている。

V. 3は、「フランスの言語、文学、文明の歴史を引くための著書と件名」と題された目録である。

附属図書館では、第1、2巻だけを所蔵している。